

2025年(令和7年)6月オホーツク管内倒産集計

令和7年7月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

昨年12月以来の発生ゼロ

6月の発生なしは23年以来2年ぶり

■前月比	件数	1件減少(令和7年 5月	1件)
	負債総額	1億1,300万円減少(	1億1,300万円)

■前年同月比	件数	1件減少(令和6年 6月	1件)
	負債総額	3,600万円減少(	3,600万円)

令和7年6月の発生状況

令和7年6月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生がなかった。倒産発生ゼロは昨年12月以来となり、今年に入ってから初めて。年初から重苦しい雰囲気が続く中でようやく一息ついた感はあるが、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しくまだまだ予断は許さない。

直近5ヵ年における6月の倒産発生は20年0件、21年1件、22年1件、23年0件、24年1件の推移で平均発生件数は0.6件。同負債総額は5,671万円。

過去5年間と今年1月～6月の発生推移

過去5年間の1月～6月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は6.0件。同負債総額は6億7,649万円となっている。

年初から断続的に倒産発生がみられる今年は過去5年間の平均額を大きく上回っている。

過去5年間と今年1～6月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2020年	7件	11億8,600万円
2021年	8件	8億2,100万円
2022年	1件	2,356万円
2023年	6件	3億8,175万円
2024年	8件	9億7,014万円
2025年	7件	10億2,589万円

今後の見通しと問題点

国内全体では堅調なインバウンド需要に支えられる観光産業等で動きが見られるものの、エネルギー価格など各種物価の高騰・高止まりが中小事業者の経営を圧迫し、さらには深刻な人手不足や人件費上昇に伴う負担増などが引き金となり、道内全体では倒産件数の増加が顕著となっている。さらに、金利引き上げに伴う資金調達コスト増がジワジワと忍び寄るほか、4月以降は物価高騰の流れが加速して各企業の収益を圧迫するなど、今なお重苦しい雰囲気が漂っている。

オホーツク管内では昨年後半の落ち着いた様相から状況が一変し、年初から5か月連続で倒産が発生するなど今後の動向が懸念される状況だ。6月は実に半年ぶりに倒産発生がなかったものの、物価高騰や深刻な人手不足など取り巻く環境は一層厳しさを増している。北見市の財政悪化による影響も各方面に暗い影を落としており、先行きを不安視する声が多く聞かれるなど見通しは決して明るくはない。

2025年(令和7年)倒産整理企業の集計表

月/日	商号	代表者	所在地	業種	負債額(万円)	主要因	動向

月別	件数	負債額
1月	1 件	50,000 万円
2月	2 件	15,025 万円
3月	1 件	3,618 万円
4月	2 件	22,646 万円
5月	1 件	11,300 万円
6月	件	万円
7月	件	万円

8月	件	万円
9月	件	万円
10月	件	万円
11月	件	万円
12月	件	万円
合 計	7 件	102,589 万円
令和6年	8 件	97,014 万円
前年対比	▲ 1 件	5,575 万円

[illegible][illegible][illegible][illegible]